

製品安全データシート

製造者情報

会社名：第一大宮株式会社
住所：大阪府摂津市南別府町16-16
担当部門：樹脂事業部
電話番号：06-6340-0909
FAX番号：06-6340-0006

作成 平成19年2月5日

改定 平成27年10月1日

製品名（化学名、商品名等）：クリーンアイシー

物質の特定

化学名：ポリプロピレン
構成成分：成分名 エチレン、1-プロペンポリマー
化学式 $(C_3H_6)_x-(C_2H_4)_y$
CAS番号 9010-79-1
添加剤 酸化防止剤、安定剤 2%（最大3.5%）

危険有害性の分類 分類の名称：該当せず

危険性：消防法指定可燃物にあたる。
通常取り扱いでは危険性はないが、加熱されたシートによる火傷に注意。

応急措置 目に入った場合：粉末の場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼する。
洗眼中、眼瞼は十分開いてあらゆる部位まで水がいきわたるようにし、決して目をこすってはならない。
溶融物を目に受けた場合は、直ちに冷たい水で十分に洗眼する。
目に異物感があれば直ちに医師の手当てをうける。

皮膚に付着した場合：粉末の場合は水で十分に洗い流す。
溶融物が付着した場合には衣服の上から大量の水をかけ、十分に冷却し、医師の判断を仰ぐ。

飲み込んだ場合：大量の水を飲ませて、指を差し込んで吐かせる。
異常を感じたり、患者に意識が無い場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

吸入した場合：高温の溶融樹脂から発生する煙や蒸気をひどく吸入したときは、

直ちに患者を毛布等で包んで安静にさせ、新鮮な空気の所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。

| | | |
|--------|----------|--|
| 火災時の措置 | 消火方法 | ： 火元の燃焼源を断ち、大量の水・消火剤を使用して消火する。 消火作業は、風上から行い、呼吸保護具を着用する。 |
| | 消火剤 | ： 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水 |
| | 危険有害物の放出 | 完全燃焼の場合 ： 炭酸ガス、水蒸気 不完全燃焼の場合 ： 一酸化炭素、すす 燃え止し ： ハイドロカーボン、ケトン、アルデヒド、アクロレイン、 揮発性脂肪酸 |

| | | |
|------------------|------|---|
| 取扱いおよび 保管上の注意 | 取り扱い | ： 通常の手扱いで良いが、切断時の粉を吸い込んだり、眼・皮膚 および衣服に触れないように適切な保護具を使用する。 加熱時の火傷、切断面での切傷には特に注意を有する。 |
| | 保管 | ： 雨・風・日光に晒されない屋内で、常温で保管する。 引火性の強い物質のそばに保管しない。 地面に接触して蓄えられた静電気を除去する。 保管場所では、みだりに火気を使用しない。 |

| | | |
|--------|----------|-------------|
| 物理／化学的 | 外観 | ： シート（パレット） |
| | 色 | ： 透明又は白い半透明 |
| | 臭い | ： 臭気なし |
| | 密度(g/ml) | ： 0.905 |
| | 溶解性 | ： 水に不溶 |

| | | |
|-------|-----------|-------------------------|
| 危険性情報 | 溶融範囲 | ： 160℃～165℃ |
| | フラッシュポイント | ： ±350℃（ASTM D 1929） |
| | 自動点火温度 | ： >380℃ |
| | 可燃性 | ： 有り（消防法指定可燃物） |
| | 酸素指数 | ： 18 |
| | 酸化性 | ： なし |
| | 安定性・反応性 | ： 一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。 |
| | 自己反応性・爆発性 | ： なし |
| | 自己反応性・揮発性 | ： なし |

| | | |
|-------|----|---------------------------------|
| 有害性情報 | 劇毒 | ： 生物学的不活性 |
| | 吸入 | ： 235℃以上熱した場合、製品は気化したり、煙を出したりして |

呼吸器官に炎症を起こし、咳や呼吸困難を起こすことがある。

皮膚に接触 : 高温で熱分解し炎症を起こすことがある。

目に接触 : 粉末は目に炎症を起こすことがある。

融解した粉は目の網膜を焼くことがある。

高熱で熱分解し、炎症を起こすことがある。

環境影響情報 環境効果 : データは知られていないが、鳥類、魚類等が摂取する可能性が有りうるため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

可動性 土壌と沈殿物 : 製品は土壌可動性です。

水 : 製品は事故で放出した場合、表面に浮き、溶解しない。
空気に蒸発することは事実上ありえない。

持続性と分解性 生物分解性 : 物質は緩やかに生物分解する。

廃棄上の注意 原則として廃棄物は焼却または埋め立てによって処理する。焼却するときは、焼却設備を用いて大気汚染防止法に適合した処理を施し焼却する。
埋め立てるときは、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処理する。

輸送上の注意 (1) 梱包装が破れないように、水漏れや乱暴な取り扱いを避ける。特に、角(かど)の傷付けには注意する。
(2) パレット輸送の場合には、落下・荷崩れ等に特に注意する。
(3) 火気厳禁

適用法令 消防法 指定可燃物 (合成樹脂類) (3000kg)
火災予防条例準則第34条

記載内容の取り扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の手続きを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。